

視 察 日 時	令和7年5月23日（金）午前9時30分 ～ 午前11時
視 察 先	徳島県小松島市（説明：総務部DX推進課、総務部人事課）
視 察 項 目	DX推進計画・DX人材育成の取組について
視 察 概 要	（１）DX推進計画の推進について 小松島市では、デジタルの力を活用し、質の高い市民サービスの提供を目指す「DX推進計画」の推進に向けて、様々な取組・ツールの導入を行っていた。 <u>①BPR支援ツール「ガバメイツピット」の導入</u> 全国の自治体の「業務手順」と「所要時間」を可視化・共有できる、BPR支援ツール「ガバメイツピット」を導入。他市の効率の良い業務手順に倣うことで、「手軽」に業務改善を実現していた。 【削減例】 小松島市の職員録作成業務について、A市の業務手順と所要時間と比較したところ、大きな差があることが判明し、簡単に業務改善できることに気付いた（小松島市：8手順で70時間、A市：5手順で12時間）。A市にならって業務改善を実施したところ、年間で50時間以上の業務量削減につながった。 これまでの業務改善は、「個人」のやる気と「創造力」に頼る面が大きかったため、個人負担が大きく、業務改善に取り組む職員は少なかった。 ↓ ツールの導入（R5とR6の2年間）によって、業務改善に必要な能力は、他市の好事例を「選択」する力へと変化し、手軽に取り組めることで、チャレンジする職員が増え業務改善志向が根付いた。 ↓ 現在は、「ひとり」から「みんな」で取り組む業務改善に変化したことで、対話が増え、風通しの良い職場づくりにつながっている。 <u>②ビジネスチャットツール「L o G oチャット」の導入</u> 令和5年度に、ビジネスチャットツール「L o G oチャット」を本格導入。従来の電話やメール、対面が主体のコミュニケーションに代わる、チャットツールを導入したことによって、職員間のコミュニケーション活性化・迅速化につなげていた。他にも、他自治体や外部民間団体とのやり取りにも活用しているとのことであった。

- 費用：198 万円／年（500 アカウントまで）※1 人約 4,000 円/年
- 効果：1 人当たり、年間で平均 98 時間の業務削減効果あり。

③生成A I ツール「L o G o A I アシスタント」のトライアル

L o G o チャットのオプション機能である、C h a t G P T エンジンの生成A I ツール「L o G o A I アシスタント」のトライアルを、令和 5 年度に行ったが、本格導入には至っておらず、現在検討中。

④A I 自動文字起こし機「ログミーツ」の導入

令和 4 年度に導入。最近から、要約機能も新たに搭載された。

- 費用：約 16 万円／年

(2) D X 人材育成の取組について

令和 6 年度の取組としては、D X 推進計画の中の「定期的な業務プロセスの見直し」をさらに推進するため、人事課とD X 推進課が話し合い、小松島市が目指す「デジタル人材」を定義し、D X 推進リーダーの育成を行っていた。また、令和 7 年度も様々な研修を企画していた。

①小松島市が目指す「デジタル人材」とは

従来の情報政策担当部局が担ってきた、庁内の情報システムの構築・維持管理に係る業務や情報セキュリティに係る業務と異なり、

- ・積極的にデジタル技術やデータを活用して自治体行政を変革していくD X の取組をリードし、
- ・企画立案や部局間の総合調整等の業務を推進する人材を、
→ 新たに「D X 推進リーダー」と定義した。

②「D X 推進リーダー」候補者の募集

『業務時間内で、あなたもD X 人材になれる！』をキャッチコピーに、小松島市役所最高リスクリング責任者（C R O）及びC I O 補佐官の指導の下、デジタル化推進の中心となる職員を育成する取組として、D X 推進リーダー候補者を募集した。

- 目的：将来の小松島市のD X 推進を担う人材を育成（リスクリング）
- 概要：約 3 年かけてD X 研修を受講し単位を取得（途中離脱も可）
- 対象者：概ね入庁 12 年目まで。前向きで意欲がある。原則自薦
- 募集人数：50 名程度

	<u>③研修アンケートの実施後に、研修を実施</u> 予め、いくつかの研修コンテンツを用意し、アンケートを実施。 計 45 人から回答を得て、令和 6 年度は、C R O による「生成 A I 研修」へ 10 人が、C I O 補佐官による「B P R 研修」へ 20 人が参加した。 <u>④今後取り組む研修について</u> ・ J - L I S による動画研修（地方公共団体職員の課題に即した研修） ・ 自治研修センターによる研修（D X 推進課職員が推薦する他自治体との合同研修） ・ 学び直し研修（W o r d、E x c e l 等の学び直し） ・ D X 推進課による研修（セキュリティー研修など） [質疑応答] Q. B P R 支援ツールの「ガバメイツピット」の費用はいくらか？ A. 約 100 万円／年である。 Q. 「ガバメイツピット」で、貴市の全ての業務を見直したのか？ A. 入力に手間がかかるので、各課で 3 つ以上の業務を入力してもらう形とした。そのため、小松島市では約 100 業務を入力したが、他市の多いところでは、1,000 業務近くを入力している自治体もあるようだ。
所 感 (意見・感想・ 今後の課題等)	小松島市では、業務改善のための各種ツールの導入によって、職員の余力を創出し、それによって市民サービスの向上につなげているなど、参考になる取組がたくさんあった。 また、職員向けの生成 A I 研修に関しては、アーカイブ動画によって自由な時間に受講できるようにするなど、通常業務になるべく支障が出ないような工夫をされていた。他にも、B P R ワークショップ研修では、参加者のほとんどが入庁 5 年目までの職員であり、横のつながりも生まれたりするなど、予期せぬ効果も生まれているとのことであった。 本市においても、D X 推進及び D X 人材の育成に関しては、まだまだ改善の余地があると認識しているため、対話が増え、組織としての風通しを良くするために、引き続き議会側からも働きかけていきたい。

報告者 総務常任委員会 本間 正芳